

# 秋田大学附属図書館の運営課題と今後の活動視点

2020年におけるアクションプラン通過点評価と再スケジュール



## ■知の共有

見直し → コモンズスタイルから  
電子リソースの提供へ

コロナ禍により集会型学習機会の提供は難しい状況が続くと考えられ、物理的な場「コモンズ」の提供から電子リソースの提供にシフトする

### 【実施プラン】

電子ブック・電子ジャーナル・データベース・デジタルギャラリーを充実するとともに、学外からのアクセス環境を増強する。情報探索ガイドブックWeb版の作成、オープンアクセスへの協力。

## ■知の創出

見直し → 対面からリモートサービスへ  
～学び合うリモート環境に～

対面によるサービスが難しくなった図書館利用案内や検索案内は、図書館サービス情報のリソースを電子で提供し公開する

### 【実施プラン】

図書館利用案内動画の公開、文献検索講習会のリモート開催、図書館HPマイライブラリーのプラットフォーム化による初年次教育関連リソースの電子提供、図書館利用教育のための教材作成支援。

## ■新しい人材

見直し → 学修支援人材の養成  
～電子リソースの活用支援～

電子コンテンツの比重増に対応し、情報リテラシー教育を基軸にリモート学修への活用スキルを高めた若手人材を養成するため、組織体制の整備や人材交流を検討する

### 【実施プラン】

各種研修への参加促進と研修報告発表による習得スキルの組織蓄積、アカデミックスキルを一層高めた若手職員の人材育成のため組織体制を整備、他館との人材交流も検討。

## ◆医学図書館に関する課題認識と将来視点

医学部の学生は国家試験合格という明確な目標があるため、医学図書館として、学生および教員に対し国家試験合格に向けた支援の取り組みを行う。

実施プラン

### ○個人学修支援

・滞在型学修機能の充実、電子動画の利用検討

### ○教員と連携した教育研究支援

・作成コンテンツとWebClassの連携、論文投稿支援